

メディカルチェックにおける入院優先度参考スコア（案）

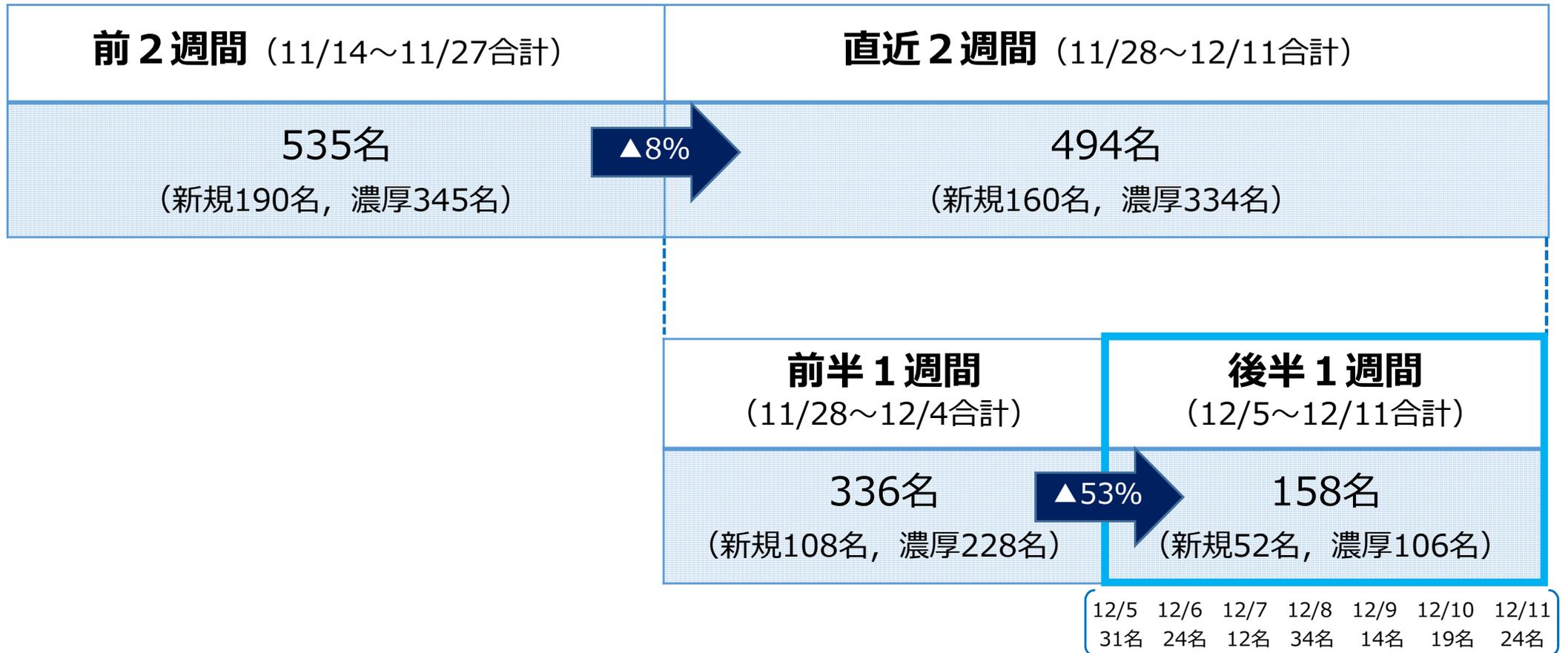
【運用主体】 メディカルチェックを行う医療機関 等
 【入院判断基準の目安】 5点以上を入院優先とする

臨床的判断項目		スコア
(1)	呼吸苦の症状が中等症以上*	入院
	重症感(全身倦怠感、水分・食事がとれない等)	入院
	透析	入院
	妊娠37週以降の妊婦	入院
	HOT導入患者	入院
(2)	75歳以上	3
	65～74歳	2
(3)	無症状	-1
(4)	SpO2 96%>	6
	Xp/CTにて肺炎像	
	・片側かつ1/2以下	3
	・片側かつ1/2以上	6
	・両側かつ広がり軽度（1葉にとどまっている）	3
・両側かつ広がり多葉性	6	
(5)	ハイリスク因子1項目あたり	
	●糖尿病(インスリンを使用している、またはコントロール不良例)	3
	●糖尿病(コントロール良好)	2
	●COPD(気管支喘息を含む)	2
	●重度の心血管疾患	2
	●免疫抑制剤使用(ステロイドを含む抑制剤)	2
	●悪性腫瘍に罹患し治療中	2
	●血液移植・骨髄移植、原発性免疫不全、HIV、臓器移植後	2
	●肥満(≥BMI 30)または100kg以上	2
	●コントロール不良の高血圧	1
●高度慢性腎臓病	1	

- ・ 横になれない、座らないと息ができない、句単位・単語単位の話し方、ゼーゼーとしている、日常生活で少し動くと息が上がる等の症状がある

直近1か月の県内感染状況等

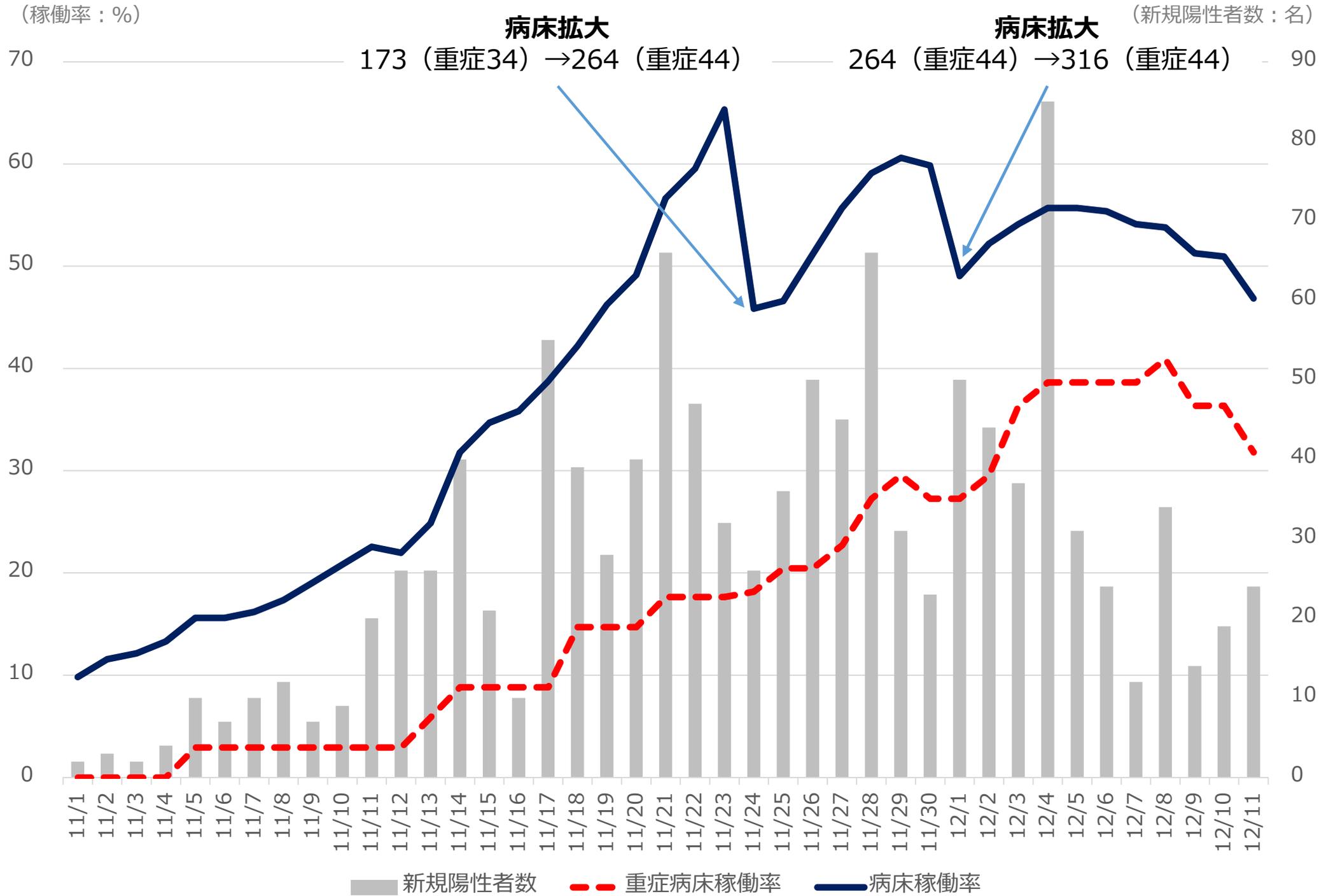
◆ 感染状況（新規陽性者数の推移）



◆ 医療提供体制（病床稼働率の推移）

前々1週間 （11/21～11/27平均）	前1週間 （11/28～12/4平均）	直近1週間 （12/5～12/11平均）
重症19.3% 全体54.4%	重症30.8% 全体55.8%	重症37.3% 全体52.6%

医療提供体制の状況



宿泊療養施設での療養について

- 茨城県では、地域の医療提供体制を維持する観点から、新型コロナウイルス感染症の方のうち、軽症者等について、宿泊施設での療養を行います。
- 宿泊療養施設の選定にあたっては、帰国者・接触者外来又は入院中の医療機関の医師の診断結果、患者からの聞き取り、病床の状況等を踏まえ、保健所及び入院調整本部が総合的に判断します。
- 宿泊療養施設においても、専門職による必要な医療・保健サービスを提供します。

宿泊療養施設における医療・保健サービス

- 24時間常駐する看護師が1日3回健康管理を行います。
- 症状が悪化した際には、オンコール医師の判断で入院に切り替えます。

【これから】

- ・ 医師による患者の容態確認ができる体制を構築します。
- ・ 酸素吸入機器等を追加導入するなどし、施設内の医療機能を拡充します。

▶ 感染症対策の専門家の指導の下、施設周辺には感染が広がらないよう適切に運用してまいります。

- 具体的には、
- 施設内は、清潔区域と汚染区域を明確にゾーニングし、衛生管理を徹底します。
 - 軽症者等は、療養が終了するまで急変時を除いては、施設外に出ることはありません。
 - 軽症者等の生活で出るごみは、感染性廃棄物として適切に処理します。